

THE DECISION
OF
THE TEAM

2007年6月26日。
その日、あるメジャーリーグチ
ームのジェネラルマネージャ
ーであるB・キタジマは頭を抱
えていた。
ドラフト会議。それは、来期か
らチームに貢献してもらった優
秀な選手を獲得するための、1
年のうちで最も重要な機会で
ある。
そんな最中、チームの中で意見
が真っ二つに割れてしまった
のだ。

Yuki

*What is the point
To judge the true value
For one team?*

球団の栄光を目指すドラフト会議にて

メジャーリーグ球団“決断の時”

強いチーム作りに必要な要素は何か、
岐路にたったチームはどこへ向かうのか。
長く続く伝統の中で試行錯誤を続ける、
MLB界の緊迫したワンシーンを切り取った。

高校生投手 ユーキ

「選手ユーキをとるべきだ。間違いない。」

こう口火を切ったのはスカウトマン、アツオ・オレゴンである。長くメジャーリーグ（以下MLB）にて選手として活躍し、現役を退いた後は、球界を熟知した目利きスカウトマンとして場数を踏んできた。晴れて今年度からこのチームに活躍の場を移した。

「ユーキは高校生投手であり、非常に若くエネルギーに満ち、有望な将来を示唆している。彼のような選手は将来大きくなってメジャーリーグ界を揺るがすんだ。」

さらに、アツオはこう続けた。

「ユーキをとることによって、我がチームはファンを喜ばせることの出来るパフォーマンス性の高い勝利を収めるだろう。何せやつ速球のスピードときたら、ユキとすれば抜けているからな。投球フォームも整っていて、申し分ない。派手なパフォーマンスにマスコミは食いつくから、話題もかつさるさる。」

「チームにとって、それが一番大切なことなのだろうか？」

こう口を挟んだのは同じくスカウトマンのジョン・ワイドリバーだ。

What is the point To judge the true value For one team?



彼はMLB界には珍しいタイプの人間である。球界出身ではなく大卒で、年もまだ若い。冷静ではあるが球界を理解していないかのような発言を繰り返すので一部のスカウトマンたちからは煙たがられていた。

アツオとの立ち位置はチームの中で真つ向対立しており、口論となることがしばしばあった。

ジョンは続けた。

「選手の人気を確実・不変なものととらえるのは危険だと思います。彼らだって人間ですからね。必ず変動はあるし、限界だって存在する。」

「そうはいっても、観客動員数の増加は容易にみえるだろう。こういったスター型選手を投入すると、普段あまり球場に足を運ばない観客を動員できる。新しい顧客層の拡大だ。」

スター選手の存在はグッズの売り上げに貢献し、その収益はチームに反映される。じゃあ聞くが、君はどうやって選手を選ぶというのだ？」

「過去の分析です。目に見えるものだけを信じていれば、間違いなく失敗に陥ります。」

「なるほど。しかし見てごらん、あの体格の良さ。長い経験を通して多くの選手を見てきたが、今まで見てきた中でも目を見張るほど、惚れ惚れするような肉体だ。加えてあの俊足、守備能力の高さ、身体能力の高さ。やつは、野球で最も大切とされている4つの指標「足」「肩」「守備」「打率」どれをとっても素晴らしい！今のままで十分MLBで通用する選手だ。」

「確かにユーキは、彼には若き日のマキリクス選手の姿を彷彿させると話

題ですし、チームを勝利へ導くだけの素質は持っていると思います。しかし、その分彼を狙うスカウトマンは多く、契約金も跳ね上がりしますよ。」

「競争率が高いからこそ、今このタイミングでうちが指名するんだらう。この順番を逃したら、確実に他の球団に取られてしまう。」

「ユーキのようなタイプの選手を獲得するには、なにかしら我々球団との金銭トラブルがつきものです。仮に今回獲得できたとしても、これから彼のような選手を継続的に何人も獲得していくのは難しいと考えた方がいい。それに、私はむしろ他と同じような選手を集めたって意味をなさないと思います。」

「じゃあ、君は一体どの選手をとりたんだ？」

「私は、S・ハムを一位指名したいと考えています。」

ジョンははっきりと、そう言った。

大卒選手 S・ハム

アツオは、大きく口を開けて唖然とした。そして、一瞬にして我に返り、勢いよく反論を始めた。

「S・ハムだと？バカを言うな！あんなやつをとってどうするつもりだ。体はあんなに太っているし、足は見た



まんま遅い。まるであいつ自身がボールじゃないか。守備・スローイングも評価できるレベルじゃない。あんな不確実性の高い選手は絶対にとれない！いいかい、昔から野球というのは4つの指標を大切にしているのだ。そのどの指標をとっても間違はなくユーキが上回っている。」

「他チームのスカウトたちは古きよき伝統をひたすら称えて、選手を見る時には揃って『ピッチングのよさ』『打率』などといった同じ指標ばかりを重視しますが、自分はその伝統を打ち壊したいと思っています。」

私は、四球（フォアボール）による出塁率という指標を用いて、注目されていない選手を見出し、能力を伸ばす教育をしていくつもりです。

What is the point To judge the true value For one team?

ちなみに彼の出塁率はドラフト候補たちの中でもトップクラスです。」

「なぜ四球なのだ？そんな地味な指標になんの意味がある。地味なんて言葉はショービジネスにおいてあつてはならない。そもそも、四球が勝利に繋がるとは思えないのだが。」

「四球と勝利に関係性があることは間違いないんです。四球を見抜くことのできる選球眼というのは、プロに入ってからトレーニングで習得できるものではない、天性のものなんです。他の能力は、入ってから伸ばせばいいんです。」

「わかった、君の言うその指標が面白いものだと言うことは認めよう。しかし『育てる』ということは時間的な口スを生じさせることだ。せつかく投資しても、いつそのコストを回収できるかわからない。良い資源を得て、より早く収益を得る。そのためには勝利に繋がるパフォーマンスを現に行っている選手、ユーキの方が効率的ということとは明白だ。」

「チーム単位で考えてみると、必ずしもそうとは言えません。自らの最高のパフォーマンスをしようとするあまり、チームとしての和が崩れるのではないのでしょうか。実際ユーキのようなスター性を兼ね備えた選手を獲得したチームでは、選手同士のトラブルが絶えないそうですよ。」

金銭面にしても、ポジション争いに関してもね。しかし、確固たる指標で選手を獲得した場合チームの方向性は一つになるし、またその公平さの下、チーム内でトラブルが置きにくくなるのです。」

「いや、それは間違っている。賃金やポジション争いは間違いなくやる気を起こさせるものだ。そういった良質な競争が起こってこそ、選手達は努力を怠ることなく、勝利を目指すのだ。」

やる気といえば、人気だつて確実に選手たちのインセンティブになるだろう。自身のプレーに対してメガフォンを叩き、必死で応援しているファンの姿は、間違いなく選手を勇気付ける。

たくさんの声援を浴びてきた選手つて言うのは、それを失いたくないという気持ちで更なる努力を重ねる。これが人気野球選手の仕組みというものだよ。」

ユーキを支持するアツオは続ける。「それにね、S・ハムのような選手の育成に重きを置くことは弊害を生みうると私は考えている。金と時間をかけて、仮に育ったとしても。そんな選手を強くしてみる。選手は高い年俸を求めてFAしたが、球団からいなくなってしまうのではないかと育て損だ！」

「まあ、確かにそうかもしれませんがね。しかし、選手一人を失ったところ



でたいした痛手ではないのではないのでしょうか。」

何としてもS・ハムを獲得したいジョンも止まることなく話し続ける。

「怪我についてはどうです？ユーキのようなパフォーマンスタイプは怪我が多い。こっちは金を払って獲得するんです。そうしよつちゅう故障されてちゃ困ります。」

「そのブランクを帳消しにするくらい活躍が期待できるからユーキを推薦しているんだ。チゲリックスの代表選手ボンゲだつてあれだけ怪我が多いけど、やつは試合を見てスタンド中の人間が興奮の渦に巻き込まれてる。むしろ怪我から復帰した試合で再び派手なパフォーマンスした時、次



GMの一言が、チームの将来を左右する。どちらの選手を獲得するのか、あなたがGMとしてジャッジを下すのは今

の日一面を飾ったのはボンゲだつた。

お前だつてそのくらい知っているだろう？これこそ、スポーツの醍醐味だ。大体、そんな無名の選手を指名して一体何が面白い。そんな出来そこな

の寄せ集めでチームが成功したことなくって聞いたことがない。」

「観客が一番求めているのは勝ち星です。要は、選手が無名であろうとかろうと、チームが勝つことが彼らにとつて最大の喜びであり、それは私たちチームの喜びとなり、選手たちも指標に沿ったプレーをしてくれることは間違いないのです。」

「指標どおり動く選手になんの魅力があるのだ。MLBとは、世界最高峰の野球リーグ。世界中から選手が集ま

What is the point To judge the true value For one team?

決断の時

「確かに、地域以外のファンを作ることは難しいかもしれませんが。しかし、地元のファンたちは、我々のチームの勝利を待ち望んでいます。どんな選手であろうと、勝利に貢献すればファンは喜び、無名の選手もいつか日の目を浴びるのです。」

「確かに、地域以外のファンを作ることは難しいかもしれませんが。しかし、地元のファンたちは、我々のチームの勝利を待ち望んでいます。どんな選手であろうと、勝利に貢献すればファンは喜び、無名の選手もいつか日の目を浴びるのです。」

口論は、指名の順番が巡ってくるまでやむことはなかった。両者互いに一步も譲らぬまま、ついその時は訪れた。

「選手の指名をお願いします」

アナウンスの声が響く。果たして球団の辿る道は。

多くの球団スカウトマンの視線が集中する中、B キタジマは重い口を開いた。

「我が球団が指名するのは

問い

この時、あなたがGMとしたら高校生投手ユキと大卒選手S ハムどちらの選手を獲得しますか？

PICK UP BASEBALL

ドラフト制度

その年の下位チームから順番に新人選手を指名していく制度。指名したチームが交渉権を獲得する。

打率

$\text{ヒット} \div \text{打数}$ で導かれる記録の1つ
野球界の評価基準とされる。

長打率

塁打数を打数で割った値。
単打は1、2塁打は2、3塁打は3、本塁打は4で換算される。

出塁率

打率ではなく、四球などを含めて出塁する率。
(ヒット + フォアボール + デッドボール) ÷ (打数 + フォアボール + デッドボール + 犠牲フライ)

MLBの現状

潤沢な資金力を誇るチームが、それに見合った成績を収めるのはプロスポーツ界の常だ。

アメリカにおけるMLBにおいて、もちろん例外ではない人気のあるスター選手をかき集め、選手が求める年俸で残留させる。しかし、ここにきてそのあり方に対して疑問の声が開始された。

これは多くの球団において深刻な問題となりつつある。金をばら撒く時代の終焉が見えてきたのである。また、MLB球団の特徴ある収益源のひとつとして、テレビの放映権があげられる。放映には種類あり、全米放映とローカルテレビの放映である。全米放映権料は全チームに均等分配される。球団間収入格差が生じるのはローカルテレビの放映権である。近年、この格差が拡大傾向にあり、球団経営に影響を与えている。

Inside watch FA 権

FA権とは既存球団との契約が解除され、選手はどこの球団とも自由に契約を結ぶことが可能となる権利だ。計1032日つまり6シーズン分メジャー登録された選手がこの権利を取得できる。選手の異動が決まると、選手を手放した球団は、獲得した球団のドラフト1位指名権が譲渡される。



参考文献

- 井上達彦 『事業システムのP-VAR分析 不完備な収益原理を超えて - 』
古内義明 (2006) 『メジャー監督』 筑摩書房
- Barney, J. *Gaining and Sustaining Competitive Advantage*, 2nd ed. Prentice Hall. - 邦訳, ジェイ・B・バーニー (2003) 『企業戦略論』 岡田正大訳 ダイアモンド社
- 二宮清純 (2001) 『メジャーリーグを10倍楽しむ方法』 ベストセラーズ
- Michael Lewis *The Art of Winning An Unfair Game*, - 邦訳, マイケル ルイス (2004) 『マネー・ボール』 中山宥役、ランダムハウス講談社
- SportsfanStores (<http://www.pclinc.com/sportsfan/Oakland-Athletics-C113.html>) 2006年9月30日
- 「YOMIURI ONLINE」, 読売新聞 (<http://www.yomiuri.co.jp/mlb/nyyankees/>) 2006年9月30日

*****読者質問カード*****

- 1つの班につき1つだけ質問にお答えします。
- ただし、漠然とした質問には漠然としたお答えしかすることができません。
- より具体的な質問をお願いします。
- また、解答に直結する質問には答えかねますのであらかじめご了承ください。